

平成 24 年度 自己評価結果を踏まえた学校関係者評価報告書

柴田町立槻木中学校

1 評価期間 平成 24 年 12 月～平成 25 年 2 月

2 学校関係者評価委員

卯花 正弘 (委員長), 加藤 盛 (副委員長),
 松田ゆう子, 平間 幸弘, 伊東 潤, 高橋 謙一, 加藤 幸恵
 佐藤 博, 村上 春江, 佐藤 伸弥

3 評価規準

○妥当である。 (適切な取組で、次年度へ向けての取組も妥当である)
 ○妥当でない。 (取組が不十分で、次年度へ向けての改善策も妥当でない。)
 ○判断することができない。

※自己評価の数値の算出方法

教職員の自己評価で、A：大変良い・・・10点、B：良い・・・5点、C：課題がある・・・-5点、D：かなり課題がある・・・-10点とし、各項目の合計点数を教職員数で割った値。

4 評価項目

1. 地域に支えられ「地域と創る学校」づくりの推進

		自己評価	関係者評価
(1)	学校運営に対する地域住民・保護者等の参画と意見・要望の反映を図り、信頼される学校づくりに努めている。	6. 3	妥当である
(2)	学校の教育内容や実践を、保護者や地域に積極的に公開し、開かれた学校づくりに努めている。	7. 1	妥当である
(3)	保護者の支援や地域の教育力を生かし、学校の教育活動の一層の充実を図っている。	5. 8	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(1)	「槻木中学校重点努力事項」についての保護者の評価を生かしながら、次年度も、よりよい教育活動を目指し地域や保護者に信頼される学校づくりに努めたい。	・学校だよりやHP等で学校の様子を知ることができた。今後も、地域や保護者とのつながりを大切にしていきたいものである。	
(2)	学校だよりやHP等で学校の様子を知らせた。また、授業参観やPTA行事等に保護者や地域の方がより多く参加できるよう工夫してきた。		
(3)	町の協働教育事業を活用し活動の充実に努めた。次年度は、さらに教科指導等において地域の人材を積極的に活用したい。		

2. 「学力向上」と新学習指導要領の趣旨の徹底

		自己評価	関係者評価
(4)	「学力向上」を目指して、指導方法の工夫・改善を図るとともに、個性を生かした楽しく分かる授業の実践に努めている。	5. 2	妥当である
(5)	学習意欲の向上と生活習慣・学習習慣を改善し、主体的な学習を促して基礎学力の向上に努めている。	5. 6	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	

<p>(4) 少人数指導や個別指導等、生徒にとって分かりやすい授業となるような工夫を行ってきた。今後も、生徒の基礎学力向上を目指し、指導方法の工夫と改善に取り組んでいきたい。</p> <p>(5) 学習習慣の改善を図るため、朝読書、WEEK課題学習、夕自習の推進に努めてきた。次年度もさらに家庭学習の定着を図るための指導工夫をし、基礎学力の向上に努めたい。</p>	<p>・もう少し評価が高くてよい。</p>
--	-----------------------

3. 豊かな人間性を育む道德教育の充実

	自己評価	関係者評価
<p>(6) 「道德の時間」の実実施時数の確保と指導方法の工夫改善を行い、道德的実践力を高めるとともに、教育活動全体を通じた道德的実践意欲の向上に努めている。</p>	4. 0	妥当である
<p>自己評価結果から次年度へ向けて</p>	<p>学校関係者による主な意見</p>	
<p>(6) 他の教育活動とも関連させながら、今後も指導方法の工夫・改善に取り組み、道德的実践につなげていきたい。</p>	<p>・道德的実践につながる指導を今後も継続していただきたい。</p>	

4. 生命の尊重と社会性の育成を図る生徒指導の充実

	自己評価	関係者評価
<p>(7) 「いのちと心を大切にすること」及び「良好な人間関係をつくること」が重要であるという共通認識のもと、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。</p>	6. 9	妥当である
<p>(8) 児童生徒の発達段階にふさわしい生徒指導を推進し、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成に努めている。</p>	6. 5	妥当である
<p>(9) 児童生徒に自己の特性を、理解させるとともに能力・適性や興味・関心等に基づいて将来の生き方を考えさせる志教育・キャリア教育の充実に努めている。</p>	6. 5	妥当である
<p>自己評価結果から次年度へ向けて</p>	<p>学校関係者による主な意見</p>	
<p>(7) 生徒会活動にも取り入れながら、いじめをなくす指導の徹底を図った。今後も、生徒が抱える諸問題に対応しつつ、いじめや不登校、別室登校生徒がなくなるよう努めたい。</p> <p>(8) 授業における学習規律の指導に努めながら、基本的な生活習慣の育成を図った。さらに家庭と連携して取り組んでいきたい。</p> <p>(9) 協働教育事業を活用し、マナー講座、職場体験学習、キャリアセミナーなどを実施し志教育・キャリア教育の充実に図った。次年度も自己の能力や適性に気づかせながら、様々な体験活動に取り組ませたい。</p>	<p>・妥当な評価である。</p>	

5. 安全・安心な教育環境の整備・促進

	自己評価	関係者評価
<p>(10) 児童生徒の安全に対する意識を高めるための指導や「防犯教室」を実施して児童生徒の安全確保に努めている。</p>	5. 8	妥当である
<p>(11) 地震災害等を想定した「避難訓練」「引き渡し訓練」「防災教室」を実施している。</p>	5. 6	妥当である
<p>(12) 「子ども見守隊」「安全パトロール隊」など地域の支援を受けて、通学路の安全確保や地域の巡回などを行い、事故や事件の被害を未然に防止している。</p>	6. 9	妥当である

(13)	生涯体育・スポーツの視点に立ち、健康でたくましい児童生徒の育成に努めている。	6. 0	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(10)	昨年度からの交通安全教室、携帯安全教室、救命救急法、薬物乱用防止教室に加え、防犯・非行防止教室を実施し安全に対する意識を高めてきた。次年度も、継続させたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し評価が高くてよい。 	
(11)	避難訓練の回数を増やし、避難経路の確認や避難時の心構え等の指導強化を図った。次年度はさらに実践的な訓練を計画・実施できるようにしたい。		
(12)	不審者情報のメール発信や放課後の地域巡回などにより、生徒の安全確保に努めてきた。今後も継続していきたい。		
(13)	体育科での指導の充実や部活動の指導工夫に努めてきた。次年度も集団行動の中でより健全でたくましい生徒を育成できるよう務めたい。		

6. 特別支援教育の充実

	自己評価	関係者評価	
(14)	「特別支援コーディネーター」を中心に、児童生徒一人一人のニーズに応じた指導を行っている。	5. 6	判断することができない
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(14)	特別支援教育について共通理解を図り、その充実に努めた。今後も、コーディネーターとともに、全教員が生徒のニーズに応じた指導に努めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか把握が難しいところがあり、評価について判断することができない。 	

7. 国際理解教育の促進

	自己評価	関係者評価	
(15)	自国文化に対する理解を深めるとともに、他国文化に学ぶ国際理解と国際化に対応した教育の推進に努めている。	2. 7	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(15)	英語科におけるALTの有効活用を図った国際理解教育の推進に限らず、他教科においても、外国のことについて積極的に関心をもたせる工夫に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性もふくめ、国際交流の機会がなかなかつくれず、難しいところもあるのではないかと。 	

8. 情報教育の推進及び学校図書館の充実

	自己評価	関係者評価	
(16)	高度情報化社会に適切に対応していくことができるよう、各教科に応じた情報活用能力の育成を目指す情報教育の推進に努めている。	4. 0	妥当である
(17)	学校図書館を整備し、児童生徒の読書活動の充実に努めている。	2. 7	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(16)	技術科や総合的な学習の時間において、生徒に積極的にコンピュータを活用させてきた。また、英語科、数学科、道徳の時間において電子黒板を積極的に活用しており、さらに他教科も活用を工夫していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の活用・充実については来年度に期待したい。 	
(17)	10分間の朝読書を毎日行ってきた。図書館の活用については、新校舎においてさらに活発化させたい。		

9. 学校校地の自然環境の整備と自然体験学習の推進向上

		自己評価	関係者評価
(18)	校地内に花と緑の潤いのある教育環境をつくとともに、児童生徒の自然体験学習の充実に努め、自分たちの住んでいる地域の自然環境を守り大切にしようとする心の育成に努めている。	5. 8	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(18)	地域の方やPTAの協力もいただきながら、校地内の緑化整備を行ってきた。次年度は新校舎となるため、奉仕活動もふくめた環境づくりの推進に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと評価が高くてよい。 ・仮設校舎南側の校庭との境目に花が植えられ、整備されていた。 	

10. 教職員の資質及び指導力の充実・向上

		自己評価	関係者評価
(19)	教職員の自己研修を促し、指導力向上を図るとともに、学校課題の解決を図る校内研究・校内研修を積極的に推進している。	7. 1	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(19)	新学習指導要領に準じた校内研修の充実に図れるよう、全職員が一丸となって取り組んできた。次年度も、外部講師を活用するなどさらに充実した研修を推進していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な評価である。 	

11. その他

		自己評価	関係者評価
(20)	子供たちと一緒に話をしたり、遊んだり、教育相談をするなどの機会を多くつくっている。	4. 2	妥当である
(21)	子供たちは学校へ来るのを楽しみにしている。	5. 8	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(20)	可能な限り生徒との時間を確保し、生徒の実態を把握しようと努めてきた。チャンス相談等により早期に問題解決につなげられるよう生徒と接する時間を大切にしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちと接する時間を大切にしようとすると思うのだが、評価項目に「多く」とあることで、評価が低めになっているのではないか。 	
(21)	多くの生徒が学校へ来ることを楽しみにしている。より望ましい人間関係や集団生活を保ち、生徒にとって安心して過ごすことができる学校づくりに努めていきたい。		

12. 教育目標について

		自己評価	関係者評価
(22)	教育目標「心豊かで、たくましく、生き生きと学ぶ生徒の育成」が、学校の教育活動において具現化されている。	5. 6	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(22)	教育目標を具現化するために、年間計画に従って教育活動を推進してきた。今年度の反省を生かしながら、次年度もよりよい教育活動を目指せるような計画を立てて実践していき、教育目標の具現化に努めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も教育目標の具現化に努めていっていただきたい。 	

◆その他: 学校関係者による主な意見